TOTO

インテリア・バー

TS134型・TS135型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

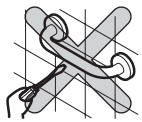
🚫	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
❗	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない

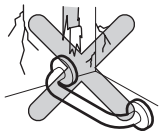
手すりの破損や脱落により使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。



必ず実行

必ず強度のある壁・建築構造体に取り付ける

土壁・石膏ボード壁などの強度のない壁に直接取り付けると、手すりがガタついたり外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

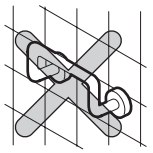


⚠ 警　告

必ず実行

下記品番は、必ず縦向きに取り付ける

横向きに取り付けて使用すると、手すりがガタついたり外れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
TS134GDY4S・6S、TS134GEY4S・6S



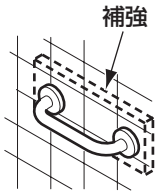
浴室などの水まわりに使用される際は、ねじの下穴に必ずシーリングを行う

水漏れの原因や、壁が腐食して手すりがガタついたり外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

各下地の取付方法をよく読み、十分な下地の厚さ、および補強があることを確認し、指定の取付方法で取り付ける

下地に十分な厚み・補強がないと、手すりがガタついたり外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

【木下地の場合】
厚み12mm以上の構造用合板(JAS規格品)または補強木を建築躯体に取り付け、手すりはこの下地材に取り付けてください。
なお、**Iタイプ(前出寸法120mm)TS134GMY6・8を横向きに取り付けて使用する場合は、30mm以上**の補強木が必要です。



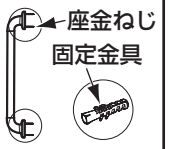
1-2

⚠ 警　告

必ず実行

必ず同梱のねじと座金、または当社指定の固定金具を使用し、指定の本数で取り付ける

同梱のねじと座金、または当社指定の固定金具を使用しなかったり、指定本数より少ない場合、手すりがガタついたり外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。



取付完了後、手すりにガタツキがないことを確認する

手すりにガタツキがあると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

2 取り付け前に

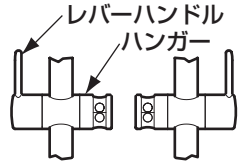
取り付け前の注意

●手すりを取り付ける壁に**十分な強度がある**ことを確認してください。

●**屋外や水没する場所には取り付けない**でください。
変色や変形のおそれがあります。

●固定方法は**建物の構造に応じて適切な方法を選んで**ください。
手すりには、木下地用のねじと座金を同梱しています。
コンクリート下地、コンクリートブロック下地、トイレブースの場合については別途固定金具をご注文してください。
固定金具必要セット数は「3 固定金具(別売品)」を参照してください。
※掲載以外の固定方法については、当社各支社・支店、営業所へお問い合わせください。

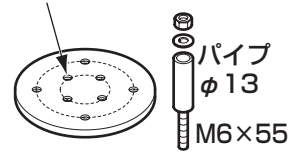
●TS135GY12N・12LNを施工する際は、右図のように**スライドハンガーのレバーハンドルとハンガーの取付方向に注意**してください。
逆に取り付けるとシャワーヘッドをかけられなくなります。



TS135GY12N　TS135GY12LN

3-1 固定金具(別売品)

〈固定金具一覧表〉

品番	T110D28	T110D22R
固定方法	プラグ固定	はさみ込み固定 (厚み40mmトイレブース後付用)
形状	 φ6×30	内側のボルト穴を使用 
セット内訳	・樹脂プラグ／20個入	固定箇所：1カ所分 ・取付プレート／1枚 ・ボルト・パイプ／各4個 ・座金・ナット／各4個

〈固定金具(別売品)必要セット数〉

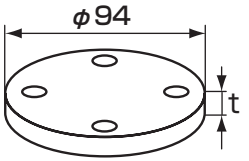
手すり品番 ＼ 固定方法		プラグ固定　注	はさみ込み固定
	固定金具の必要個数	樹脂プラグの必要個数	T110D22Rの必要個数
Iタイプ(前出寸法65mm)	TS134GY3S・4S・5S・6S・7S・9S、TS134GKY8S	8個	2個
	TS134GFY12S	12個	3個
Iタイプ(前出寸法120mm)	TS134GMY6・8	8個	−
Lタイプ(前出寸法65mm)	TS134GLCY6S・7S・8S	12個	3個
Lタイプ(前出寸法120mm)	TS134GLMY7・8	12個	−
逆Tタイプ	TS134GJY8S	16個	4個
135度タイプ	TS134GVY4S	11個	3個
オフセットタイプ	TS134GDY4S・6S、TS134GEY4S・6S	8個	−
スライドバー兼用タイプ	TS135GY12N・12LN	12個	−

注：プラグ固定の場合、T110D28の入数＝20個/セットとなっています。
上記表をご参考に取り付ける手すりの必要個数に応じて発注してください。

3-2

スペーサー

段差のある壁に手すりを取り付ける場合には
段差解消用のスペーサーをご用意しております。



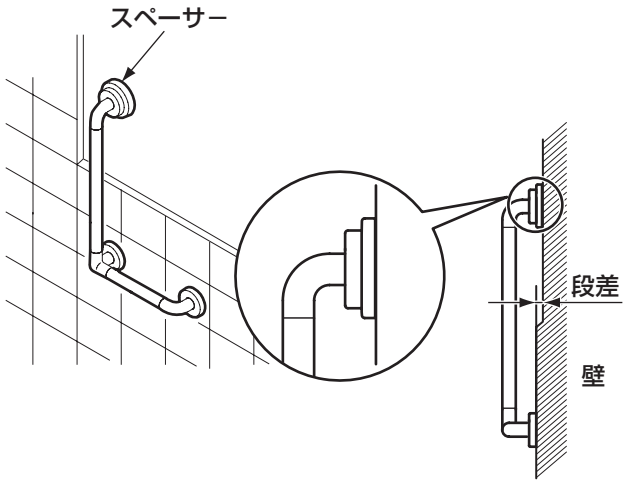
〈スペーサー〉

なべφ4.5×60mm

〈壁固定ねじ〉

品番	スペーサー	壁固定ねじ
T110D24	t= 6mm 1枚	なし (手すり同梱分を使用)
T110D32	t=15mm 1枚	4本 (スペーサーに同梱)
T110D33	t=20mm 1枚	4本 (スペーサーに同梱)

注：T110D32、T110D33をご使用の際には、必ずスペーサーに同梱のねじを使用してください。
T110D24をご使用の際には、手すり同梱分のねじを使用してください。



4 部品の確認

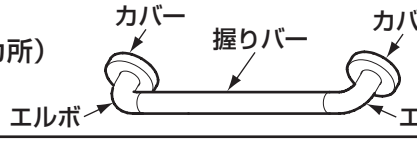
次の部品があることを確認してください。

手すり本体部

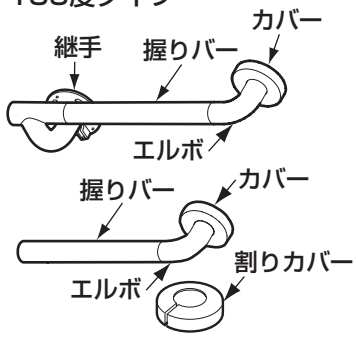
	タッピンねじ	座金	止めねじ
Iタイプ(壁固定部分が2カ所)	8本	8枚	ー
Iタイプ(壁固定部分が3カ所)	12本	12枚	1本
オフセットタイプ	8本	8枚	ー
逆Tタイプ	16本	16枚	3本
Lタイプ	12本	12枚	2本
135度タイプ	11本	11枚	1本
スライドバー兼用タイプ	12本	12枚	1本

注：135度タイプの中間指示部は3本ねじ固定となります。

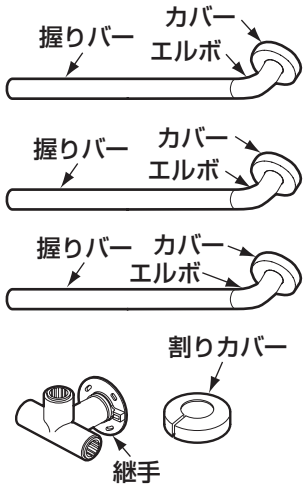
Iタイプ
(壁固定部分が2カ所)



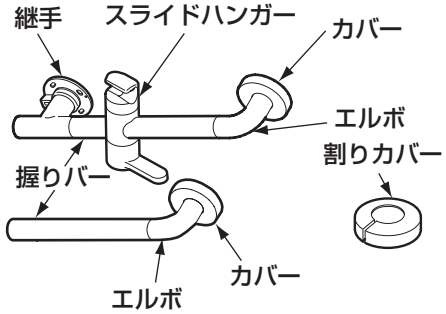
Iタイプ(壁固定部分が3カ所)
135度タイプ



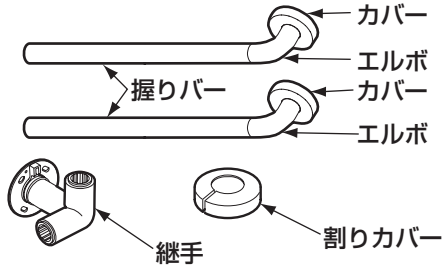
逆Tタイプ



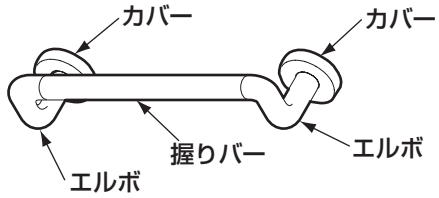
スライドバー兼用タイプ



Lタイプ



オフセットタイプ



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

その他

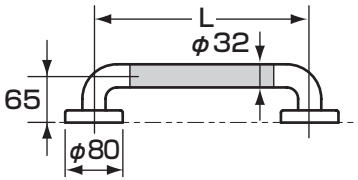
施工説明書

取扱説明書
(保証書付き)

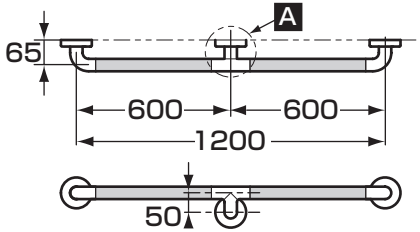
5-1 完成図

※ ▭ 部は軟質の樹脂ですべりにくくした波形の握りバーです。

Iタイプ（前出寸法65mm）

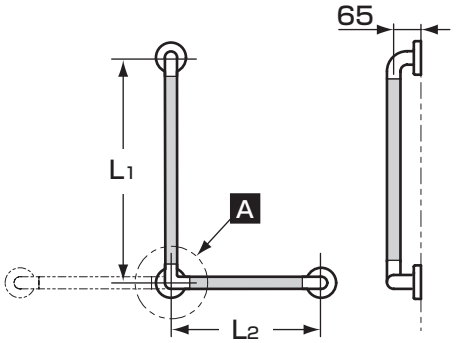


L(mm)	品番
300	TS134GY3S
400	TS134GY4S
500	TS134GY5S
600	TS134GY6S
700	TS134GY7S
800	TS134GKY8S
900	TS134GY9S



品番
TS134GFY12S

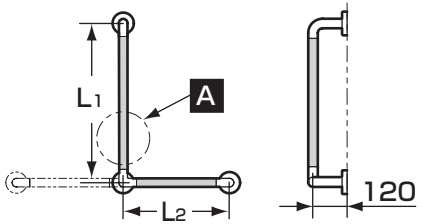
Lタイプ（前出寸法65mm）



L1(mm)	L2(mm)	品番
600	400	TS134GLCY6S
600	600	TS134GLCY7S
800	600	TS134GLCY8S

逆勝手にも取り付けできます。
※握りバー部（L1・L2）は組み替えできます。

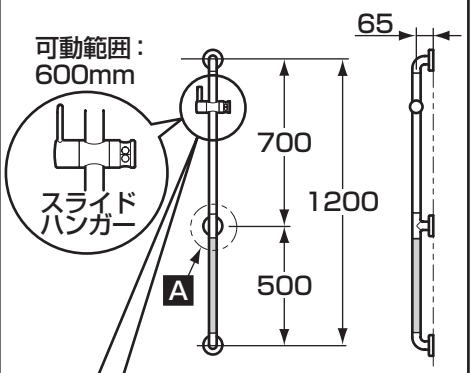
Lタイプ（前出寸法120mm）



L1(mm)	L2(mm)	品番
600	600	TS134GLMY7
800	600	TS134GLMY8

逆勝手にも取り付けできます。
※握りバー部（L1・L2）は組み替えできます。

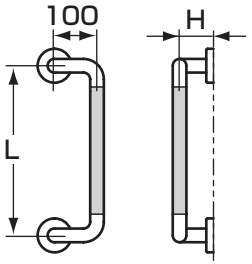
スライドバー兼用タイプ



※TS135GY12LNはシャワーヘッドを左にかけるタイプです。

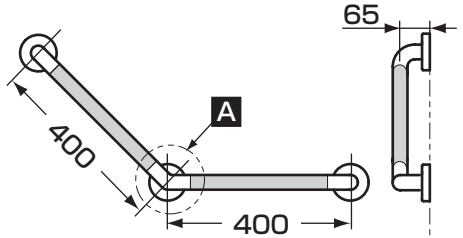
品番
TS135GY12N
TS135GY12LN

オフセットタイプ



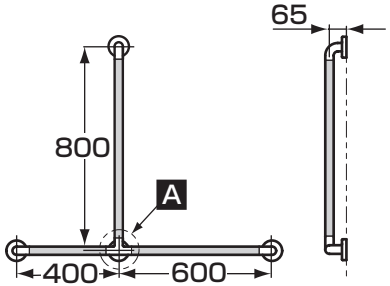
H(mm)	L(mm)	品番
80	400	TS134GDY4S
	600	TS134GDY6S
120	400	TS134GEY4S
	600	TS134GEY6S

135度タイプ



品番
TS134GVY4S

逆Tタイプ



品番
TS134GJY8S

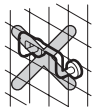
※握りバー部（800・600・400）は組み替えできます。

⚠ 警 告

必ず実行

下記品番【オフセットタイプ】は、必ず縦向きに取り付ける

横向きに取り付けて使用すると、手すりがガタついたり外れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
TS134GDY4S・6S、
TS134GEY4S・6S

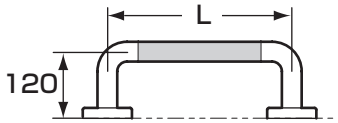


裏面へつづく

5-2

※ ▭ 部は軟質の樹脂ですべりにくくした波形の握りバーです。

Ⅰタイプ（前出寸法120mm）



L(mm)	品番
600	TS134GMY6
800	TS134GMY8

⚠ 警　告

必ず実行

下記品番【Ⅰタイプ(前出寸法120mm)】を横向きに取り付けて使用する場合は、30mm以上の厚みのある補強木を柱または間柱に固定して、その補強木に取り付ける

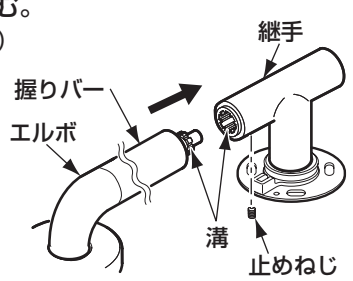
下地に十分な厚み・補強がないと、手すりがガタついたり外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。TS134GMY6・8

6 手すりの組み立て

[5 完成図のA の場合]

①握りバーと継手の溝位置をあわせて強く押し込む。
継手、エルボが同じ方向を向くように（完成図の状態）溝位置をあわせてください。

②止めねじでしっかり止める。



注　意

- **止めねじをねじ込む際は、六角棒レンチ(対辺2.5mm用)を使用してください。**
- **止めねじは握りバーと継手間のガタツキがない程度に締め付けてください。**
  強く締め付け過ぎると、ねじが空転するおそれがあります。

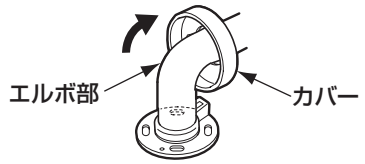
7 施工手順

1.位置決め

手すりの取付位置を決め、下穴をあける。
下穴あけ方法は「8 手すりの取り付け」の各固定方法を参照してください。

2.エルボ部のカバーの取り外し

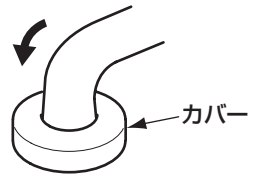
カバーをエルボ部より外す。



3.エルボ部の取り付け

①エルボ部を取付面に取り付ける。
取付方法は「8 手すりの取り付け」の各固定方法を参照してください。

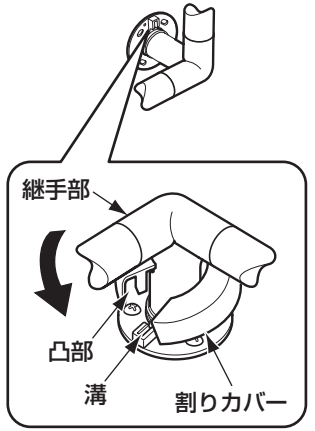
②カバーを壁面に当たるまで押し付ける。



4.継手部の取り付け

①継手部を取付面に取り付ける。
取付方法は「8 手すりの取り付け」の各固定方法を参照してください。

②割りカバーを継手部に取り付ける。
割りカバーを図のように開いて継手部にはめ、裏側の凸部を継手部の溝にはめ込みながら、壁面へ当たるまで押し込んでください。



注　意

割りカバーを開くときは、必要以上に開かないでください。
カバーが破壊したり変形するおそれがあります。

8-1 手すりの取り付け

木下地：タッピンねじ固定の場合

固定金具品番	同梱のタッピンねじ・座金をご使用ください。

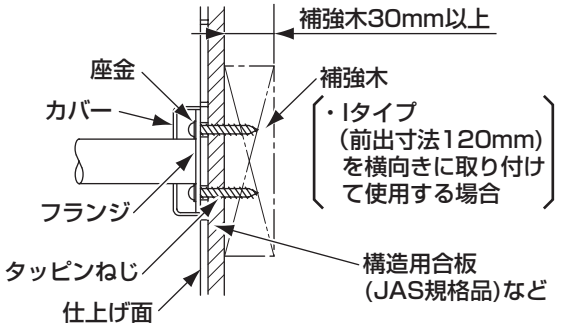
①事前に手すりにあわせた厚みの構造用合板(JAS規格品)または補強木を建築躯体に取り付ける。注1

②心出しをしたあと、下穴(φ3mm)をあける。注2
(タイル壁の場合は、タイル部のみ通し穴をφ5.5mmのドリルであけてください。)

③下穴および下穴周囲にシリコーンを塗布する。注3

④タッピンねじに座金を通しフランジの取付穴より取り付ける。注4

⑤カバーを仕上げ面に押し付ける。



※軽量鉄骨下地の場合は、下記注1を確認し、必要な厚み以上の構造用合板(JAS規格品)または補強木を軽量鉄骨に固定し、手すりはこの下地材に取り付けてください。

注 意

注1：厚み12mm以上の構造用合板(JAS規格品)または同等以上の下地材に取り付けてください。なお、Iタイプ(前出寸法120mm)TS134GMY6・8を横向きに取り付けて使用する場合は、30mm以上の補強木が必要です。

注2：指定寸法の下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

注3：タッピンねじをねじ込む前に、必ずシーリングをしてください。

注4：タッピンねじを強く締めすぎて合板やタイルなどを破壊しないように注意してください。

コンクリートブロック下地・コンクリート下地：プラグ固定の場合

固定金具品番	T110D28、同梱のタッピンねじ・座金をご使用ください。

①心出しをしたあと、樹脂プラグの下穴(φ6mm、深さ50mm)をあける。注1

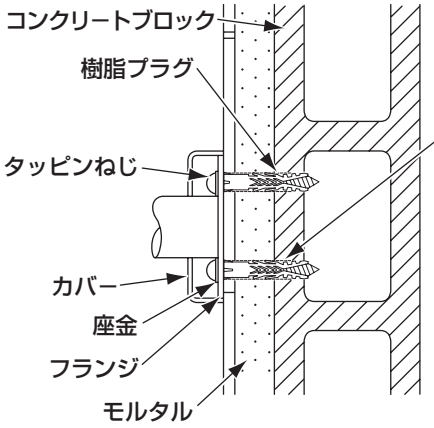
②樹脂プラグを下穴に軽く打ち込む。

③下穴および下穴周囲にシリコーンを塗布する。注2

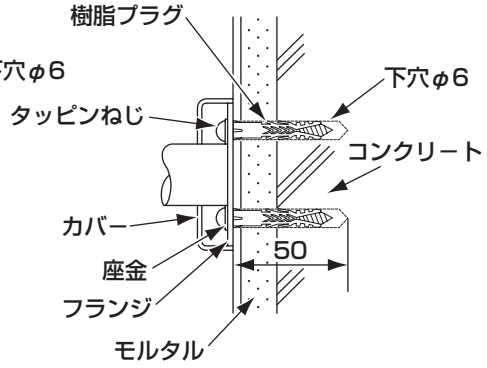
④タッピンねじに座金を通し、フランジの取付穴より取り付ける。注3

⑤カバーを仕上げ面に押し付ける。

コンクリートブロック下地の場合



コンクリート下地の場合



注 意

注1：指定寸法の下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

注2：タッピンねじをねじ込む前に、必ずシーリングをしてください。

注3：タッピンねじを強く締めすぎて合板やタイルなどを破壊しないように注意してください。

8-2

トイレブース：はさみ込み固定の場合

固定金具品番	T110D22R

注 意

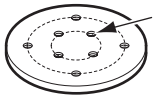
●トイレブースは厚み40mm、ペーパーハニカム、メラミンもしくはポリエステル化粧合板仕様相当の場合のみ取付可能です。

●壁からの前出寸法が65mmの手すりのみ取付可能です。
Iタイプ(前出寸法120mm)および、Lタイプ(前出寸法120mm)、オフセットタイプは取り付けできません。

①心出しをしたあと、φ13mmのパイプの通し穴をあける。

②樹脂製パイプを通し穴に挿入する。注1

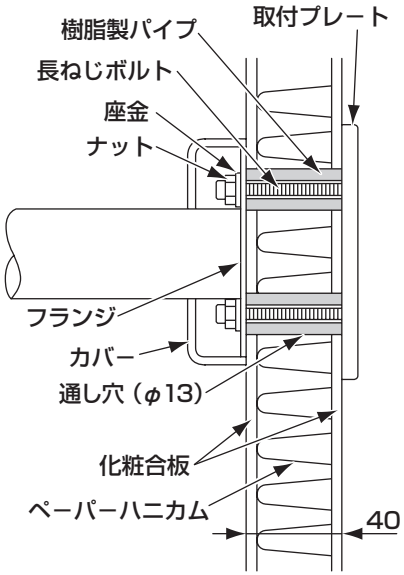
③取付プレートの内側のボルト穴に接着剤を塗布し、長ねじボルトを最後までねじ込み、ブース裏側より樹脂製パイプの穴に差し込みながら当てる。
※取付プレートには外側と内側に4カ所ずつボルト穴があります。内側のボルト穴を使用して取り付けてください。



④長ねじボルトの穴の周囲にシリコーンを塗布する。注2

⑤フランジの取付穴を長ねじボルトに通し、座金、ナットで締め付ける。

⑥カバーを仕上げ面に押し付ける。



注 意

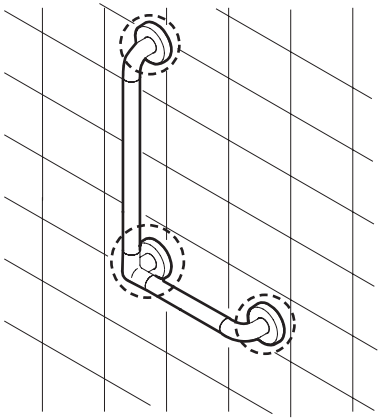
注1：トイレブースに補強木を入れた場合は、固定金具に同梱の樹脂製パイプは使用せずに取り付けできます。

注2：座金、ナットで締め付ける前に、必ずシーリングをしてください。

※他の施工方法については、当社各支社・支店、営業所へお問い合わせください。

9 点検項目

取り付けが完了したあと、ガタツキの確認をしてください。



ガタツキの確認

手すりにガタツキがないか確認してください。

接続部はしっかり組み立てていますか？

↳ 6「手すりの組み立て」参照

手すりは壁にしっかり取り付けていますか？

↳ 8「手すりの取り付け」参照

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

インテリア・バー
TS134・135型用下穴ガイド

※壁固定部数に応じて切り取ってご利用ください。

使用上のご注意

・ガイド貼付後、必ず製品の下穴位置とガイドの手すり取付穴位置が合うことをご確認頂き、下穴加工を実施ください。

・コピーしてご利用される際は、印刷機によって多少縮小されますので、寸法確認のうえ、ご使用ください。